磐城春秋

第十八號

發行所
磐城春秋社
平市田町八六
電話五三二
印刷兼發行人
高木稻水
印刷所
平活版所

【定價一部四十錢】

警防團長問責問題

波紋は何處へ

問題の核心を摑み 輕擧妄動を愼め

眞相を解剖し、一方に偏する者を排せ 解決は公平な第三者の手で隱便に

問責問題 突如市會に提案

去る十一日の平市會に突如緊急決議として馬目武之助市議に依つて提案された關內警防團長問責案は今や各方面に深刻な波紋を畫いてその歸趨は三万市民の重大な關心事となつて來てゐる。先般の總選擧の餘燼は平市民に三つの重要話題となつて燃えさかつてゐる。その一つは古川傳一氏に關係のある農業會支部の大森次長內田課長排擊等の餘震であり、その二は大井川幸隆氏の民主メーデーを動機とする人民聯盟に遠慮せよといふ申し合せであり、その三が四月十四日の富士興業工場の火災に端を發した今回の緊急決議案である。まづ我々はその決議案提出の經過を見よう。問責決議案は馬目武之助氏提案、野崎滿藏、石山一治、木村淳三氏の贊成となつて提出せられ馬目氏が提案理由を說明、野崎氏これに贊成意見を述べ永山副議長が之に反對の意見を述べ、柴田德二氏が調査委員をあげて事實を糺明し、愼重を期する事を提案、萩原議長之を採擇、野崎滿藏、井上貞次郎、柴田德二、小松茂、堀喜一、萩原義雄、永山勇吉七氏を委員にあげ堀喜一氏が委員長となつて目下眞相調査中といふ事になつてゐる

眞相を 市民は要求する

問責案提出問題が十二日の毎日の縣版に掲載されるや連日東京各紙は勿論地元各新聞にもいろ〳〵の角度からの報道が載せられてゐるが我々は〝いわき民報〟がほとんど全紙をあげて關內氏の辯護のための記事を滿載してゐる事と福島民報の大竹平警察署長談なるものとを見て市民の一部に事の眞相を歪めて認識されることを恐れるものである。凡そ新聞は公器であつて一方的に利用することは輿論を謬る非民主々義の甚しいものと斷ぜざるを得ない。敗戰國日本の指導者を戰勝國が裁く場合に於てさへ辯護人が立つのである。一方的の切捨御免は封建的遺產である

提案者 馬目市議は語る

かるが故に我々は提案者馬目氏の提案理由を聽いて公表する事は本紙の義務であると信ずる。馬目氏の述べる所は大要次の如くである

當日ガソリンが不足してゐて（全然なかつたとはいはぬ）火事場で消火の機能を發揮できなかつた事は目擊者があつた事で實証できる（目擊者の氏名をあげてゐる）關內君はガソリンはたとへ縣からの配給がなくとも用意出來る立場にある筈だ。バッテリーの充塡してなかつた事も警察の玄關前でその實際を扱つた專門家から聞いた人がある。關內君はあの火災の後、市役所から火事の件で呼ばれても行かず、十一日の市會にも出席してゐないし、火事の現場へも出てゐない。我々は今後に具へて平市のために團長としてよく反省してほしいといふ意味である。平署長の權限を犯して辭職を迫るのどうのといふ意味ではない

市會での說明には以上を具體的にその氏名をあげて述べてあるといふことである

政爭の具に 供する勿れ

その他來賓用の市の自動車やガソリンポンプを私用に供したといふ点も述べてをるが是はいさゝか本筋をはづれてをる。團長の地位にある者が多少の私用めいた事に公共のものを使用したり、公平を缺くといふやうなことは大抵の公職にある者に向けられ得る攻擊材料で公私混同で宜敷くない事は事實であるが多少恕せらるべき点もある。嚴格にすぎれば大抵の公職はつとまらぬ。ただ我々は關內氏問責案が選擧のとばつちりとして警防團員に迄迷惑を及ぼしてゐる点を注意しなければならぬ。問責案は關內團長にその鉾先が向けられてゐるので警防團そのものに對してではない。しかし結果に於ては常備消防員及警防團全部の責任といふことになる。然るに鉾先が全警防團にあるが如く巧みに輿論を指導しようとする事は公正な態度ではない

感情論をやめ 冷靜に解決せよ

團長たる者は潔よくたとへ聊かでも反省する餘地あらば堂々と陳謝し、寧ろ警察署長談を新聞にのせたり、團員が憤激したりしないやうに周圍を指導するべきである。然るに調査委員會に團員の出席を拒ませたりして刺戟するやうな態度はもし事實とすれば氏のためにとらざる所である。我々は市民の一人としてこの点について關內氏の反省を求めるものである。かくなつた以上平市を明朗ならしめるためには徹底的に事實を調査し市民に眞相を公表すべきではあるが飽く迄感情論は避けるべきで、特に調査にあたつては強い者權力を持つ者のために証人が事實をまげて証明するが如き事があつてはならぬ。なほ警防團員の戰時中の行動には一部非難さるべきものもあつたが彼等が一身一家を犧牲にして働いてくれた事に對して市民は充分に感謝すべきで、今回の事件に就いても此点を忘れてゐるものはないと信ずる。敗戰日本の軍隊なき後の國民の安寧秩序は一つに警察官吏と警防團の眞の民主化に依つて保たれるといふべきで選擧のとばつちりのやうなもので公正純潔なるべき警察や警防團が汚されぬやう切に輕擧盲動を愼しんでほしいものである。かうした問題は提案者にも無理がある。兩者とも此際冷靜に反省、斷じて自ら墓穴を掘るやうな愚かな行動があつてはならぬ

貝殼追放

△お袋がとつておきの明治、大正時代に生產された布地で裁つたモンペ組ものにパーマ、滿紅化粧の女の子をみて居ると、移りゆく世に相應らず自己存在を主張せねばならない人間性の悲しさを思ふ

△小國民の選擧談、政治談によると社會熱を支持する聲が強い。石城の社會熱は眼目だつた。八百板は惜しかつたと、自分が釣り上げた魚がポチャンと逃げた實感をこめて溜息さへまじへてゐる。それに引かへ三十代の大人は選擧より輕業の方が面白いと云ふ。少くとも輕業は命がけだからだ相である

△五百圓では太鼓判をおしても足らぬ。要楊子一束二圓五拾錢、甘藷五本で十圓、ボマード十匁拾圓也、物價が戰前の十倍とすれば月給がめて五百圓なりでも結局實質は五拾圓

△飯米五升以上持つてはならぬと云ふおふれが出るに違ひない。大根葉やかゆを喰つて貯へた個人應急米も廢止なのだらうから。二合一勺からでも貯蓄は出來るものなのか。大人の算術は玄妙である。北海道や東京では配給が一週間以上なくても少しも騷がないおつとりした方がある相な

△暇な人間ほど金があるらしく映畫館は晝夜毎日店を開けてゐる。演藝會、運動競技亦大ばやりである。音樂會、ガリ版の同人雜誌等々文化運動なのだ相である。餓道死人の腸をひれくりまはしたり、意外な犯人を直觀したりするには勇氣を要する。悲慘から面をそむけ、苦惱と悲哀を忘れようと急ぐのが通例である。併し近親の死なんとしてゐる時にうかれ騷ぐのは馬鹿と蔑まれる

△國民學校の父兄たる者こころせよ。先生方の月給をも一度想ひ起すことだ。何故先生方が勞働組合を作らなければならぬかを。フランスの先生方が殆ど共產黨になつてフランスは赤化し得た。第二國民教育を擁護せよ。財布に金なくてヒステリーにならぬ女があるか。先生と云はれる程の馬鹿でなしと夫子口すさむうちはよろしい純眞な生徒を前にして、憤滿のはけ口の行方は。自然の勢ひたゞ畏れよ

磐城民主人民聯盟結成準備會

結成大會は廿六日と決定

磐城民主人民聯盟結成準備委員會は十五日午後六時より平市公會堂日本間に開催參加團体廿八、參加人員五十六名を數へ新妻清一郎氏を議長に綱領、規約を一括審議決定し、更に

1、結成大會は五月二十六日午前十時から日本間に於て開催する。各團体は全員參加すること

2、結成準備事務所を平市田町在日朝鮮人聯盟事務所とし、準備委員は發起人一任とすること

3、福島に於ける民主人民大會に代表を送ること等を決議し

大井川幸隆氏の問題や自由勞働者組合問題等も論議され盛會裡に午後九時三十分解散した

可愛らしい園兒の 藝能祭

海外引揚者援護金募集の爲海外引揚者磐城聯盟主催で二十一日（火曜日）聚樂館に於て藝能祭が催される。晝の部は午後一時、夜の部は午後六時からで出演團体は平隣保館園兒一同、花柳舞踊、ヒバリ樂劇團である但し隣保館園兒は夜の部にだけ出演する事になつた

勤勞青文結成式

磐城地方の各勞組文化部や文化團体の横の連絡を計るため勤勞青年文化聯盟（假稱）が生まれんとしてゐるが十九日午後二時より石城產婆看護婦學校に於て結成準備會が開催される尙當日規約審議終了決定を以て結成會とする

民族親善食堂

在日本朝鮮人の生活擁護のため、同盟石城支部李影氏の骨折りで市內五丁目十六番地七福食堂を借り民族親善食堂が十五日に發足した

〝民衆劇場〟平市に建設さる

千人收容の綜合娯樂機關

八月中旬迄に完成の予定

平市には映畫劇場としては聚樂館、平館の二館があるが演劇その他の民衆娯樂機關としての劇場がないので紺屋町四二番地の第一回戰災地跡に佐藤常雄氏が今回「民衆劇場」と銘打つて眞の一般民衆の綜合娯樂機關としての劇場を建設要望に答へる事となつた。完成は八月中旬の予定で予算五十万、六間に十四間の總二階で收容人員は約千名、戰災地跡復興を早める事からも結構であるといふので落成を期待されてゐる

縣社の〝狛犬〟近く古巣へ歸る

大平洋戰爭中兵器を造るといふ宣傳で金屬回收の美名の下に平市内の大越中佐の銅像、安藤侯の銅像、時鐘等など市民に親しみ深い名物が無慘にも取り壞され、破壞されて釜石礦山に向つて送られたが、それらは鹽釜市に滯留中終戰となりその中の或物は改鑄されるために他地方に身賣されるといふ結果を生んだ。當時縣社子鍬倉神社殿にあつた名匠赤堀信平氏の手になる狛犬一對も千二百圓で回收されたがこれは原型の儘であるといふ噂があつたので献納者のさざれ會（會長諸橋久太郎氏）では山部社司と協力その行方を捜索中であつたが先般さざれ會員の一人松崎德平氏が遂に山形市の銅町鈴木鑄造所に於いて多小の缺損箇所があるがまぎれもなき縣社に献納されてあつた狛犬を發見大喜びで歸つて來た。近く買戻され修理されて改めて奉納される事になつてゐる

開拓農座談會

石城生活擁護同盟主催〝開拓農について〟の座談會は八卷縣開拓課技師を迎へて十九日午後公會堂日本間で開かれる

人物紹介 (13)

横田定好氏

磐城貨物自動車會社長

磐城貨物自動車會社で勞組の結成式があるといふ案内を受けた。丁度、第三號に「運輸事業は速かに解体せよ」といふ記事を書いた後だつたので相當の興味を持つて出席して見た。所が驚いたことには委員長が要求事項を朗讀し全面的に承認されたから社長に感謝狀を贈るといふ段取があり、これに對し横田社長の感激的挨拶があつて芽目度く幕を閉ぢたものだ

委員長小野昇君は早大出身のインテリで左翼の運動の經歷を持つ快男子だ。成程勞組をうまく指導してゆける筈だ

しかし彼を表面に立ててともすれば一般工場會社が闘爭の嵐に揉まれ勝ちな世相をよそに會社を明朗に運營してゐる所に横田社長の腹藝がある。横田氏は學歷は小學校高等科卒だけだ。彼の語る所によると少年時代から機敏で負けん氣の所があり、木炭事業、土工、煉瓦職工、鐵道車掌、製材業といろ〳〵の仕事を渡り歩き、住居も四ツ倉、磐越線夏井、岩手縣殿美、黒澤尻、大阪、勿來と轉々として歩いてゐる。從つて好い意味でも悪い意味でも人情の機微も知りぬいてゐる。勿來町では町議を二期つとめ、十七年の翼贊選擧には非推薦で出馬して鉛衡委員に一泡ふかして見事に當選してゐる。老巧で如才ない所もあり、滔々と好く辯じ常識としての間口も廣い。終戰のどさくさに巧に便乘して產をなしたといふ噂もあり、多少の風評もないわけではないが今では押しも押されもせぬ磐城貨物の社長としてをさまつてゐる。當年五十餘いかなる名參謀を得てその驥足をのばすかが將來の彼にかけられた課題であらう

自由詩

平風景感傷詩

草野　正辰

驛前の雜沓をわけてながるあたり
をわたしは愛さない
本町通りの幅の低いガサガサした
月並さをもわたしは愛さない
南町かけて二つの映畫館への
あの猫族の棲息する屋並も亦
わたしは愛せない
國敗れて青梅の實の靜かにふくれ
ゆく生垣越しに見る城山や八幡小
路ここも同じく愛し得ぬのだ
新川端から鎌田へかけての月夜の
稻田の見える街の姿も
愛への道を歩ませぬ
農學校から白い秋の風ふく橋をわ
たり冬枯れの日射の下に
春を待つ裁判所から才槌小路へ矢
張りわたしは愛の冒險を見失ふ
春と五月の松ケ岡の色どりにも
見捨てられた淺い池と待避の壕に
ロをきくのは愛の空虛な響だけ
とりすまして而も下びてゐる仲間
町や雪のふりつんだ丹後澤の朝の
風景や線岡の湯へゆく道や
左にのぞむ樓現塚や四軒町の閑靜
さにも
愛のことばを云ひそびれる
新田町のかはたれどきも七月のひ
だるい午後のつまびきにも
あへて心は動かされぬ
再建の產業急ぐ六丁目も例によつ
ての暗いすえたにほひで
口が思はずひきしまつてくる
この私が眞底愛する平の風景は
やけ跡の畑　とりわけ麥畑の少年
のやうな整列すがた
第二、第三國民學校に
小さい生徒が狹い日向で遊ぶ風景
壁をあげころびたはむれうづくま
る幼い人間の集り

展望

◇祖國への熱情

△ダイク准將は〝日本國民よ戰爭に傾けたあの熱意を以て民主日本再建に當れ〟と云ふ意味のことを云つてゐる……

△我等は何と云はうと、心はどうあつたらうと戰爭のために全力を傾注して來たことは事實である。今この熱意を祖國の再建に傾けなければならぬ……

△この資格は義務は全國民にある。誤まれる戰爭指導者を除き八千万同胞は一致團結して進むべきである……

△一中國人陳雲階氏は〝戰後日本の第一線に出て來た人達の一部が果して戰爭中何をしてゐたか、日本を敗戰に導くことに力を注いだ人達が果して眞の日本人なのか〟と毎日新聞紙上で叫んでゐる……

△我等はこの叫びを玩味反省すべきではないだらうか

收獲途上の未完成の繪畫と音樂
ここに魂は吸はれ
わたしの愛は注がれる
しひたげられあとまはしにされる
建造物件へ
いたましい現實の勢ひを見せられ
愛はいきどほろしさを内につゝん
で　次の世代に生きる種族への希
望と期待とは
產まんとする苦しみの衝動をつき
あげてくろ
わたしの心は叫んでくろ
中學生よ　女學生よ　青年學校生
徒諸君よ
君達までがこの風潮を見失ひ
後から歩む小さき群れを現在の
悲しくも方ない痕跡の生成を
見忘れる筈はない
必ずない
食料なく資材を入手されず
せまくるしく着るに古着を以てす
る武器なき道義なき
闘の大人の群のなかに今われら
平生活の若者なるた
心ゆくばかり感傷として
歌ひあげくりかへし
持たればならぬものを持つ人間に
なるために
努力していそしみはげむ毎日をば
各瞬間に忘れながら
日々あたらしく生れかはり生れか
はつて
愛の破壞を始めよ　偶像破壞だ
破壞だ　破壞だ
さあ始めよ
わたしの心は叫んでくろ

詩

初夏の夢

田部　彰

つる、つる、つるるるる……
と、うどんをすゝる音
あゝうまいうどんだ
一家團らんの笑顔で
僕も、妻も、長女も、次女も——
長男も眼を丸くして
一杯、二杯、三杯
五杯、五杯も喰べた
あつい、熱いとすゝり乍ら
うどんを喰べて
さて汗を拭いて眼がさめた
汗をかいて寢てゐたのだ
初夏の薫風吹き込むあした——
うつら、うつらと床の中で
おなかが背中に
ひつつきさうな
空虛な微苦笑の一駒ではある

短歌

病床にて

舟生　紫石

病み疲れ身を倚す窓邊に白梅は
そぼふる雨に微笑みて居り
寂しさになれて久しき吾なれど
運命悲しと思ふ日ぞある

内科小兒科
鈴木醫院
平市銀治町
電話四五二番

内科小兒科
渡邊醫院
平市八幡小路
電話八一四

内科小兒科
大森醫院
平市南町
電二五八

平市搔槌小路一六
東部木工株式會社
取締役社長　色川　光以
電話三六一番

五月一日開店
茂木カメラ店
平市三丁目警察通
皆樣永らく御不便をかけましたが小さい店を開設御奉仕致します故何卒御利用下さい

產科婦人科
五十嵐醫院
平市新川町
電話三六九番

金物類一式
產機具類一式
精粉機
製塩釜
家庭風呂釜
船舶用發動機
鑛山用機械
佐藤鐵工販賣部
平市四丁目マルトモビル
電話一二四番

本社合資會社
佐藤鐵工所
電話三六二・七三一番

釜屋商店
平市五丁目
電話九番九九番

神谷工業原料株式會社
社長　神谷兼次郎
平市田町五六
電話六五六六五五

平硝子製作所
平窯業株式會社
平木工株式會社
佐藤幸太郎商店
本社　平市田町二十六番地　電話(平)四五五
東京事務所　東京都芝區新橋二ノ三八(烏丸ビル)
小名濱出張所　小名濱町定西

桑原計理事務所
計理士　桑原　徹
税務代理士
平市揚土　電話一八五番

レストラン
平會館
平市三丁目
電話六二四番

▽支那料理　▽朝鮮料理
▽西洋料理　▽日本料理
◎六月十五日開店
民族親善食堂
平市五丁目十六番地
元七福食堂